

6月7日(土)高知県香美市の「猪野々山国有林9林班」で 国有林モニター現地説明会を開催します

四国森林管理局では、令和7年6月7日(土)に、高知県香美市において国有林モニターを対象に**現地説明会**を開催します。

木材の生産事業について焦点を当て、森林環境保全整備事業(保育間伐【活用型】)を実施している猪野々山9林班を見学いただきます。

○事業概要

事業期間：令和6年度～令和7年度

作業方法：列状間伐・架線集材

請負予定数量：6,000m³

※『**国有林モニター制度**』とは、国有林について幅広く国民の皆様から意見・要望をいただき、国有林野の管理経営に役立てるとともに、国有林野事業に対する理解を深めていただくなど、**国民の皆様との双方向の情報・意見の交換など対話型の取組を行う制度**です。

四国森林管理局では、令和6～7年度の2年間を任期とするモニターを公募し、34名に依頼しています。この任期の間で複数回の現地説明会、アンケート調査等を実施することとしており、この度開催する現地説明会は、現モニター体制となって3回目の現地説明会です。

◆開催予定日：令和7年6月7日(土)：雨天中止

※中止の場合は、参加連絡を下された方には前日15時までに連絡いたします。

◆時間：11時55分～15時30分目処

※取材を希望される場合は、事前連絡の上、「高知中部森林管理署(別紙1行程のとおり)」に、11時45分までにお越し下さい。一部だけの取材でも差し支えありません。

◆場所・内容 高知中部森林管理署：開会、概要説明、昼食
猪野々山9林班：現地見学、質疑応答、記念撮影、閉会
(詳細は別紙1行程のとおり)

◆参加予定者：国有林モニター(16名程度)、四国森林管理局、高知中部森林管理署

◆留意事項

1. 取材を希望されるマスコミの方は、6月6日(金)12:00までに四国森林管理局 企画調整課 中村(TEL:088-821-2160)まで御連絡下さい。
2. 現地説明会の実施状況はカメラ撮影等可能ですが、腕章等を着用いただき、現地の職員の指示に従って下さい。
3. 当日は野外活動が中心となりますので、歩行に適した靴と長袖、長ズボンの動きやすい服装でお越しいただくとともに、昼食、飲み物の準備をお願いします。

◆参考：令和6～7年度国有林モニター第2回現地説明会の概要 別紙2のとおり



【お問い合わせ先】 四国森林管理局 企画調整課
担当：浜本・羽田・渡邊・中村
TEL：088-821-2160

【当日連絡先】 公用携帯 TEL：080-8630-4678 (前日までは上記におかけください。)

行程

- ◆ 集合場所：「高知中部森林管理署」
住所：高知県香美市物部町大栃1539

※当日は入口に看板を設置します。
※管理署建物横の駐車スペースを御利用いただけます。



- ◆ 現地説明会内容予定

時間	内容	場所
<u>11:45目処での集合をお願いします</u>		
11:55～ 12:30	・開会式 ・素材生産事業についての概要説明 ・昼食	高知中部森林管理署 会議室
12:30～ 13:15	移動 (現地までの移動用の車を用意いたします) 以降15:00頃までお手洗いには寄れません。ご注意ください。	
13:15～ 14:30	・架線集材見学 ・造材等見学 ・質疑応答	猪野々山9林班外
14:30～ 14:45	・記念撮影 ・閉会式	猪野々山9林班外
解散 (高知中部森林管理署まで車でお送りいたします 15:30頃着)		

四国森林管理局 国有林モニターだより 第4号



✳ 令和6年12月7日（土）に高知県吾川郡いの町で開催しました「第2回国有林モニター現地説明会」の活動の様子を紹介いたします。四国各県から18名のモニターの皆様に御参加いただき、国有林の地域貢献について知っていただいたとともに、様々な御意見をいただきました。



HPに掲載中⇒

<https://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/20230613.html>

▼ 午前中：造林事業・獣害対策の説明



（会場：いの町清水公民館）

主な説明内容は

- ・資源の循環利用と森林の持つ多面的機能の発揮
- ・造林事業（再造林の現状と課題等）
- ・シカ被害を中心とした獣害対策事業

参加者からの声

✳ 日本の木が今ちょうど使いごろであることを、もっと広く国民の常識になる位、あちこちで情報発信がされると、使う人が増えたり新しいアイデアが集まったりすると思う。

✳ 林業は、これから他産業とどんどん連携すべきだと思います。今回は狩猟についてのお話もありましたので、狩猟とうまく連携できたらいいと思いました。

▼ 午後：「集約化試験団地」の見学

（会場：高知県吾川郡いの町 葛籠谷黒滝山231林班）

・造林に関する各種技術課題を1箇所のフィールドに集約し、実証作業を行う「集約化試験団地」において、「シカ用小型囲いわなの開発」、「早生樹の造林技術の確立」、「地拵（じごしらえ）省略による苗木の成長比較」、「大苗と施肥を使用した低コスト造林」等の取組について見学。



集約化試験団地 全景



小型囲いわな「こじゃんと1号」の説明



「地拵省略による苗木の成長比較」の説明



「大苗と施肥を使用した低コスト造林」の説明

参加者からの声

✳ 色々な取り組みを一度に見学できて、わかりやすい。

✳ 膨大な時間と手間をかけながら、下刈りや施肥など様々な検証をされていることを知れて良かったです。

✳ 早生樹については、放置されてしまった場合、元々の環境に影響がないか気になった。

✳ 誘引捕獲のアイデアは素人でも捕獲確率が高くなりそうで、素晴らしいと思いました。